

## 環境エネルギー技術革新計画WGの設置について

平成 20 年 1 月 30 日  
基本政策推進専門調査会

### 1. 主旨

地球温暖化問題は21世紀の人類にとって最も深刻な課題であり、環境と経済の両立を図りつつ、温室効果ガスの排出を大幅に削減し、気候変動に伴う環境被害への対策に取り組む必要がある。

低炭素社会を実現するために、当面は、更なる省エネ技術の開発や新エネルギーの本格利用などに向けて、環境エネルギー技術開発を加速することが重要である。さらに、中長期的には、地球温暖化問題の根本的な解決に向けて、温室効果ガスの排出をゼロに近づける革新的な技術開発を推進する必要がある。

総合科学技術会議では「環境エネルギー技術革新計画」を策定することとし、計画案検討のためのWGを設置する。

### 2. 検討内容

昨年わが国が提案した、2050年までの世界全体の温室効果ガス排出半減等、抜本的な地球温暖化対策を実現する「環境エネルギー技術革新計画」を策定するため、以下の事項を検討する。

- 1) 温室効果ガス排出削減技術等、地球温暖化対策に大きな効果が期待できる技術の選定と、開発ロードマップ、技術的課題、研究開発目標(例、温室効果ガス排出削減ポテンシャルなど)等の設定
- 2) 社会への普及策と必要なシステム改革のあり方
- 3) 技術の国際展開、および国際貢献策

### 3. WGメンバー

座長 葉師寺 泰蔵 総合科学技術会議議員

(メンバー)

石谷 久 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授  
猪野 博行 東京電力株式会社 常務取締役  
茅 陽一 財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長兼研究所長  
佐和 隆光 立命館大学政策科学研究科 教授  
西岡 秀三 独立行政法人国立環境研究所 参与  
村上 周三 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授  
山下 光彦 日産自動車株式会社 取締役副社長  
山名 元 国立大学法人京都大学原子炉実験所 教授

(50音順)

その他の総合科学技術会議議員はアドバイザーとして随時参加

### 4. スケジュール

2月下旬 第1回 WG(検討の進め方)  
3月 第2回、第3回 WG(ヒアリング、環境エネルギー技術の選定)  
(3月下旬 総合科学技術会議において中間報告)  
4月 第4回、第5回 WG(推進方策について)  
5月上旬 第6回 WG(環境エネルギー革新計画案の取りまとめ)  
5月中 基本政策推進専門調査会に報告し、総合科学技術会議にて決定

計6回 開催予定